

Exhibition Match Sporting Regulation 2017



2017年度 ロードスター・パーティレースⅢ 模擬戦 競技規定

1. 大会

本レースは、国際自動車連盟 (FIA) の国際モータースポーツ競技規則に準拠した模擬戦とし、本規定にて、およびサーキット規定に従って開催される。全ての参加者は、これらの諸規定に精通し、これを守るとともに主催者および競技役員からの指示に従う義務を負うものとする。

2. 組織

本レースは、ピーススポーツ・パーティレース事務局 (以下 B-Sports) が「ロードスター・パーティレースⅢ エキシビジョンマッチ in 富士スピードウェイ」の名称を付けて組織、開催する。

3. 大会スケジュールおよびレース距離

大会	開催日	レース形式・周回数	開催場所
模擬戦	3月20日 (月/祝)	スプリント 7ラップ (約32km)	富士スピードウェイ

※開催日、内容は諸事情により変更する可能性がある。
※詳細なタイムスケジュールは公式通知にて示す。

4. 参加クラス

1) 本レースは、以下の3つのクラス区分によりレースを実施する。

NDクラス	ND型ロードスターNR-Aユーザーを対象としたクラス。
NCクラス	NC型ロードスターNR-Aユーザーを対象としたクラス。
NBクラス	NB型ロードスターNR-Aユーザーを対象としたクラス。

2) クラスを追加・変更・中止にする場合がある。また、各クラスの参加台数が30台未満の場合は、そのレースの挙行を中止、レースの合併、レース距離の短縮を行う場合がある。

5. 参加資格

1) ドライバーは、JAF 国内競技運転者許可証 A クラス以上の所持者もしくは富士スピードウェイのサーキットライセンス所持者であること。また、B-Sports が認めた場合に限り、JAF 以外の ASN が発給する競技許可証の所持者も参加が認められる。

2) ピットクルーは、ピット責任者を含み3名以内とする。

3) ドライバーならびにピットクルーは、競技中に有効な保険に加入することを強く推奨する。

6. ドライバーおよびチームクルーの遵守事項

1) 本大会は公式戦に向けた模擬戦であり、パーティレースの趣旨を十分に理解し、他の参加者や競技役員を含む全ての関係者への思いやりを持ち、スポーツマンシップに則り、美しく安全に走ることを第一に心掛けること。

2) FIA国際モータースポーツ競技規則付則項目および付則事項の規定を遵守すること。

3) 後続車の走行ラインを意図的に塞いだり、コーナールの極端に手前からインパタ走行を続けたら、併走する相手の走行ラインを残さなかったり、幅寄せなどで他の参加者を威嚇する走行をしないこと。

4) この条項に違反した場合には、ペナルティが課せられる。

7. 参加車両、ゼッケンの表示、ドライバーの装備品

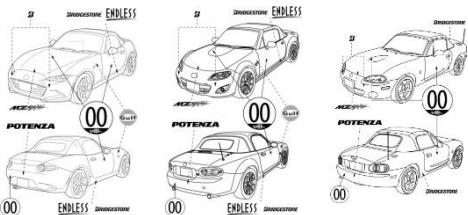
1) 参加車両は、別掲の車両規定に合致した車両でなければならない。

2) ゼッケン番号は、参加者の希望 (1~199 番までの範囲とする) とそれまでの使用実績を考慮し、B-Sports が決定する。また、ゼッケン番号およびゼッケンスペースは B-Sports 指定のもの (Party RaceⅢロゴ入り) に限り使用が認められる。ただし、2015 年度までパーティレースで指定されていた旧デザイン (M&ZDA ロゴもしくは Party RaceⅡ ロゴ入り) の継続使用は認められる。購入を希望する場合には、本大会の参加申込書の所定欄に記入し、参加料とともにゼッケン代金 11,000 円 (税込) を支払うものとする。

3) ドライバーは、JAF 国内競技車両規則第 4 編付則「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に従い装備品を整えること。また、全てのクラスで頭部および頸部の保護装置 (HANS フィット) を使用しなければならない。

8. 広告スペース

1) 参加者は、B-Sports および当該主催者の為に広告スペースを提供しなければならない。その位置および数は以下の図のとおりとする。S-スポンサーステッカーは B-Sports より配布されたものを使用すること。



2) シリーズスポンサーおよびイベントスポンサーと競合する個人スポンサーロゴの露出は認められない。特例として、競合するオイル製品・企業ロゴの露出は妨げないが、シリーズスポンサーと同じポジティブ面への露出は認められない。

3) 参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否されるかもしれないことをあらかじめ承知していないといけない。

9. ソフトトピック

予選、決勝を通じて競技長からの指示がない限り、オープン状態での走行が義務付けられる。

10. 参加申込

1) 参加申込は、ロードスター・パーティレース公式サイト (<http://www.party-race.com/>) の専用フォームから、郵送にて行うこと。郵送の場合は、所定の参加申込用紙に記入・捺印し、参加料を添えて下記の場所まで現金書留にて郵送とする。
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-18-3-8F
ピーススポーツ・パーティレース事務局
TEL:03-5487-0735 / FAX:03-5487-0737

2) 参加料の支払いは銀行振込も可能とする。参加申込の意思を表明後 3 日以内 (土日祝を除く) に下記の指定口座まで参加料を振り込まなければならない。
※振込手数料は参加者負担。
※振込名義は参加ドライバーの名と同一でなければならない。異なる場合には、B-Sports に対し事前にその旨を伝えなければならない。

金融機関名	みずほ銀行	店名	渋谷支店	口座種目	普通口座
口座番号	1323717	口座名義	カ) ピーススポーツ		

3) 諸事情により主催者が先着申込順に参加受付台数に定員を設ける場合がある。その場合はブルテンにて示す。

4) 参加申込が成立するのは、規定の方法による参加申込の意思表明と、参加料の入金の両方が B-Sports が確認できた時点とする。主催者が先着申込順に参加受付台数に定員を設ける場合は、参加申込が成立した順とする。

5) 受付期間
2017年2月8日 (水) ~ 2月28日 (火)

6) 参加申込書に記載する車名欄には、必ず当該参加クラス車両名 (「ロードスター」または「ROADSTER」の文字) が含まれていなければならない。

7) 参加申込受付期間後、主催者が書類審査の上、特に指定がない場合はエントリー宛に正式参加受理書を送付する。

11. 参加料

1) 参加料 : 38,000 円 (税込) (エントリーに付き / 富士スピードウェイの入場料は別途必要)

2) レースが中止になる場合を除き、一旦支払った参加料は返還されない。ただし、レースが中止になったり、定員に満たぬ等の理由で参加が受理されなかった場合には、返金手数料料 1,000 円 (税込) を差し引いた金額が返金される。

12. 予選

1) ドライバーは、必ず定められた時間に行われる当該クラスの予選に参加しなければならない。その際に使用する車両は、車両検査に合格したものに限られる。

2) 予選タイムはタイムトライアル方式とする。義務周回数とは定められないが、少なくとも 1 周はラップタイムが計測されなければならない。予選走行に関する諸規則は、特に定められていない場合、決勝レースと同様とする。

3) 予選結果の順位は、それぞれのドライバーが記録した最高ラップタイム順に決定される。2 名以上のドライバーが同一の最高ラップタイムを記録した場合には、最初にそのタイムを出した車両が優先され、以下この方法に準じて順位が決定される。

13. 決勝レース

1) レーススタートの方法は、各大会の特別規則書に規定がない場合、1×1 配列グリッドのスタンディングスタートでスタート合図は灯火信号とする。

2) 決勝スタート

①3分前ボード表示…ドライバーは車両にて待機し、競技役員を除く全ての者はコース上から退去する。

②1分前ボード表示…ドライバーは車室内に着座したままエンジンを始動する。

③スタートからの緑色の旗の振動…競技車両はスターティンググリッドの隊列を保ちながらホールポジション車両のペースによってフォーメーションラップを開始する。

④フォーメーションラップ中の遅い越しは許されない。また、スタート練習や著しく隊列を乱してはならない。もし隊列を乱した場合にはペナルティが課せられる。

⑤フォーメーションラップの際に、スタートに出遅れた車両およびフォーメーションラップ途中で正しい位置が保てなかった車両は最後尾スタートとする。(当該車両の当初のグリッドは空けておく)

⑥車両がスターティンググリッドに戻ったら、それぞれのグリッド位置にエンジンをかけたまま停車する。

⑦全ての車両が停車したらスターターは赤ランプ 5 秒前を表示する。

⑧上記⑦の表示 5 秒後にスターターはグリッドの静止状態を確かめて赤ランプを点灯する。

⑨通常、赤ランプ点灯後 2 秒以上 3 秒以内に赤ランプが消灯し、レースがスタートする。
※上記のスタート方法は、天候その他の事由により変更する場合があります。

14. ピット規定

1) ピットインの条件は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速を進行し、充分に減速してから停車帯に入り自己のピット前で停車し、エンジンを一度停止しなければならない。

2) ピットレーン通過制限速度は 60km/h 以下とする。

3) 自己のピットエリアで作業できる人数は、ピットクルーもしくはドライバーとして登録された 3 名までとする。

4) 自己のピット前を通り過ぎてしまった場合は、競技役員からの許可を得た後、自己のピット要員によって押し戻すことができる。(ピット内でのリバースギヤの使用は、厳重に禁止される。)

5) ピット作業の場合を除いて、ピット要員がピットから出て停車帯に立つことを禁止する。また、シングルプラットフォームに出られる人員は、登録されたピットクルーおよびドライバーの内 1 名までとする。

6) 火花を散らす装置や工具、または、高温を発生する装置や工具のピット内およびピットエリアでの使用を禁止する。

7) 修理・調整等のピット作業は、指定された自己のピットエリア以外では行われてはならない。

8) ピットでは、電動工具、並びに、エアーツールを使用してはならない。

9) ピットでのタイヤ、ラジエター等の冷却のための水・氷等の使用は禁止される。

10) コースへの復帰は競技役員からの指示または、ピット出口の信号灯火に従わなければならない。

1) 無線機の使用は一切禁止する。ただし、一般に市販される携帯電話同士による通信のみ認められる。

15. 決勝レースの中断および再スタート

1) 通常の安全な状態が保持できなくなった場合、もしくは停止した競技車両の回収のため赤旗により競技を中断するか、競技長の決定によりレースを非競技化するために、セーフティカーをコース上に導入する場合があります。

2) セーフティカー

①全ての競技車両は、セーフティカーの後方に 1 列縦隊に整列し、レース先頭車両は車両 5 台分以内車間距離で続き、残りの車両は出来る限り詰めて隊列を保たなければならない。セーフティカーと同一速度を保ちながら走行し、セーフティカーから競技車両に対し特段の指示がない限り、遅い越しは禁止される。

②セーフティカーが出動中、競技車両はピットインすることができるが、コースへの復帰はピットレーン出口のグリーンランプが点灯している間に限られる。

③競技車がセーフティカーを呼び戻す時は、セーフティカーはオレンジライトを消灯する。この時点でセーフティカー後方に並ぶ先頭車両が走行ペースを指示してよく、必要であればセーフティカーとの車間距離を 5 台分以下としても構わない。セーフティカーがピット入口に入ると同時に、オブザーベーションボスの黄旗と SC ボードが撤去され、それらに代わり緑旗が 1 周の間だけ振動表示される。

④スタートラインの信号灯がグリーンに点灯し再スタートとなるが、各車両は、スタートラインを通過するまで他車の遅い越しは禁止される。

⑤セーフティカーが任務についている間の経過周回数は、決勝レース中として扱われる。

3) 赤旗によるレースの中断

①赤旗が提示された場合、全ての車両は、直ちに速度を落とし遅い越しを無しに赤旗ライン (通常はスタートライン) の後方に整列し待機する。予選の中断については、各自ピットに戻る。

②レースの順位は、レース中断の合図が出された時点で先頭車両が完了した周回の 1 周前の周回完了時点の順位とする。

③赤旗が提示された時点で先頭車両が完了した周回が 2 周未満の場合、最初のスタートは無効とみなされる。再スタートを行う場合は、レース距離を 3 周減算する。

④赤旗が提示された時点で先頭車両が完了した周回が 2 周以上の場合は、レースは成立したものとみなされ、競技車両は車両保管帯に移動する。

4) 再スタート手順

①赤旗ラインを解除後、第 2 パートのグリッドは、第 1 パート終了時の車両の順位により配列される。なお、再スタートできない車両がある場合は、空いたグリッドはそのままとする。

②赤旗が提示されてから 10 分後にピットレーン出口が閉鎖され、それ以降はピットスタートとする。ピット出口よりレースを再開しようとする車両は、自力で出口にたどり着いた順にレース再開することができる。

③赤旗が提示されてから 15 分後にスタート 5 分前ボードを表示してグリッドを閉鎖し、スタンディングスタート方式で再スタートする。ただし、競技長が安全上必要と認めた場合のみ、スタート時間を遅らせることができる。

④赤旗が提示された時点でピット入り口あるいはピットレーンにいた車両は、赤旗が提示された時点においても自己のピットで全ての作業を継続することができる。

⑤赤旗ラインに停車中の車両は、全ての作業 (ドライバー交代を含む) を一切禁止する。ただし、ピットレーン上の赤旗ラインに停車中の車両や、押されてピットレーンに進入した車両は、赤旗ライン解除後から自己のピットで全ての作業が許される。

16. タイヤ本数の制限

1) 予選、決勝を通じて使用できるタイヤは 4 本までとする。

2) パスト等のやむを得ない理由の場合のみ、競技長の判断により追加使用が許される。その際、予選終了後に交換する場合、レースは最後尾スタートとなる。競技長の許可無くタイヤ交換作業を行った場合には、ペナルティが課せられる。

17. 燃料

1) 競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF 国内競技車両規則第 3 編第 1 章第 9 条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている (潤滑油以外のいかなる添加物も含まない) 自動車用無鉛燃料を使用すること。

2) やむを得ない理由で競技長が特に認めた場合を除き、レース中の燃料補給は認められない。競技長の許可無くレース中に燃料補給を行った場合には、ペナルティが課せられる。

18. 一般安全規定

1) 予選中および決勝レース走行中、いかなる理由があろうとも競技車両を停止させる場合は、他の競技車両の危険や障害とならない場所に停車させなければならない。ドライバー自身が、競技車両を危険な位置から移動できない場合は、競技役員がこれを援助するものとする。

2) ピット以外で修理を行う場合は、全て車載工具・部品を使用し、当該ドライバーが行わなければならない。

3) 当該ドライバーと権限を与えられた競技役員を除いて、ピット以外に停車している競技車両に触れることはできない。

4) コースに沿って競技車両を押ししたり、押してコントロールラインを通過した場合は、失格とする。

5) レース中にコース上やピットで競技車両を停止させた場合、その競技車両に搭載されているバッテリーとスタートペダルを使用して、エンジンを始動させること。押しがけは一切禁止する。

6) 本大会の公式予選およびレース走行中に競技役員より指示される旗の信号合図は、国際モータースポーツ競技規則付則 H 項および補助信号機を採用し、これに準じて行われる。

7) 信号合図に従わない場合は、罰則が適用されこの判定に対する抗議は受け付けられない。

8) レース続行が危険とみなされるドライバー、または競技車両については、競技長の判断によりピットインを命ずるか、あるいはレースから除外することができる。

19. レース終了および順位決定

1) 優勝車両はそのレース距離の走行を最短時間で終了した車両とする。その順位決定は周回数とコントロールラインの通過順に基づいて行われる。

2) 優勝車両のレース距離の 70% (小数点以下切捨て) に満たない車両には順位が行われられないものとする。

3) 発生意由や罰則が課されるかどうかを問わず、審判員から他車との接触の判定を受けた場合には、順位が判定されないものとする。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。

4) ワンチェックアップの場合でも、レースはその時点で終了したものとみなされる。また、チェッカーフラッグが不注意によって遅れて提示された場合には、定められた距離をもってレースは終了したものと順位が判定される。

5) チェッカーフラッグの提示を受けた全ての車両は、原則としてコースを 1 周した後、指定の待機場所に停車し、そのまま車両保管とする。ガス欠等により周回できなくなった場合には、競技役員からの指示に従うこと。

20. 賞典

1) 大会賞典
①各大会のクラス別賞典は下記の通りとする。
1~6 位 トロフィー

②各大会賞典は、各クラスの決勝出場台数により、賞の制限を行う。入賞は 6 位を超えない出走台数の 50% (繰割捨てとし、1 台の場合には大会賞典は用意されない) とする。

2) 特別賞

上記の賞典とは別に特別賞を B-Sports が設定する場合がある。特別賞の受賞者の決定は B-Sports が行うものとし、その決定に対する抗議は認められない。

21. 本規定に記載されていない事項

本規定に記載されていない事項については、公式通知により公示される。なお、本規定の変更や解釈は B-Sports ブルテンとして B-Sports より公示される。